＊ 2024 年 06 月　第 3 版
2015 年 03 月　第 2 版（新記載要領に基づく改訂）

認証番号：220AABZX00093000

歯科材料　０１　歯科用金属
管理医療機器　歯科鋳造用銀合金第１種（70777000）

ジーシー　ミロシルバー

【禁忌・禁止】
本合金、類似成分の合金又は配合成分に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】
形　　状：粒状　100ｇ（ミロフラックス付き）／函
成　　分：銀 65%、錫 20%、亜鉛 15%、アルミニウム 微量
原　　理：歯科用の銀合金であり、加熱溶融して鋳造することにより、支台築造、インレーの補綴物を製作する。

特性

液相点	(℃)	560
ビッカース硬さ	(HV)	170

【使用目的又は効果】
本品は、歯科鋳造用の銀合金であり、支台築造、インレーの作製に使用する。

【使用方法等】
１）スプルー線
鋳造体の大きさに応じて、φ1.5～2.5mm の太さのものを使用します。
２）埋没
石英埋没材、又はクリストバライト系埋没材を使用します。
３）ワックスの焼却とリング温度
使用する埋没材の添付文書に従い、ワックス焼却を行います。リング温度は 700℃付近とし､30 分間程度の係留を行います。ワックスを完全に焼却した後､炉内で 300℃まで冷却するか、あるいは炉外に取り出して室温で５分間放冷してから鋳造します。
４）フラックス
ジーシー　ミロフラックスを使用します。
５）溶融と鋳造
溶融には尖鋭な火炎を用い、合金が溶け始めたらフラックスを少量加え、全体が鏡状になったら火炎をやや太くして溶融金属全体を覆うようにすれば鏡面状で回転しますので、直ちに鋳造します。
６）鋳造体の取りだし
リングを室温近くまで放冷してから、鋳造体を取りだします。
７）清掃と研磨
鋳造体は酸化による変色はしませんので薬液清掃の必要はありません。そのまま通法に従って研磨を行います。
８）ろう着
ろう着にはジーシー　ミロソルダーを使用します。

［使用方法に関連する使用上の注意］
１）鋳造残部等を再溶融する場合には、サンドブラスターなどで埋没材を完全に取り除き、新しい合金を適量加えて溶融すること。
２）溶融時にはオーバーヒートに注意すること。
３）鋳造後、すぐに水中で急冷することは合金を脆くするので、リングは必ず室温近くまで放冷すること。

【使用上の注意】
１）使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
①薬剤、食品、アクセサリー、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本合金及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。

２）重要な基本的注意
①本合金の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
②本合金に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本合金を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
③本合金の鋳造設備付近には、局所排気装置、換気扇などを設けて密閉した部屋での作業を避け、鋳造により発生する粉塵及び蒸気を吸入しないこと。[粉塵や蒸気が人体に影響を与える可能性がある]
④本合金の加熱、溶融などの作業の際には、飛散などによる目の損傷ややけどを防ぐために、保護めがねなどを使用し、服装に注意すること。[目の損傷ややけどの可能性がある]
⑤本合金の切削の際には、目の損傷を防ぐために、保護めがねなどを使用すること。[目の損傷の可能性がある]
⑥本合金の研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。[粉塵が人体に影響を与える可能性がある]
⑦他の合金と混用しないこと。
⑧本合金は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。
⑨本合金は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
⑩本合金については、試験による MR 安全性評価を実施していない。（自己認証による）＊

３）不具合・有害事象
有害事象
掌蹠膿疱症、扁平苔癬、皮膚炎などの歯科金属疹（遅発性金属アレルギー疾患）を発症することがあります。

【保管方法及び有効期間等】
［保管方法］
・本合金は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売元　：株式会社ジーシーデンタルプロダクツ
主たる設計元　：株式会社ジーシー

発売元　　：株式会社ジーシー
住所　　：〒113－0033
東京都文京区本郷３丁目２番 14 号
電話番号　　：（お客様窓口）0120-416480

20013298
170547AW